



第63回



CPD認定プログラム
JSCE18-1069 23.5単位

水工学講演会

2018

11/25日~27日火

会場：北海道大学 札幌キャンパス
学術交流会館他
(北海道札幌市北区北8西5)



- ①主催：土木学会(担当：水工学委員会)
- ②開催期日：11月25日(日)～27日(火)
25日(日)：開会式、一般講演、アゲールシンポジウム、河川災害に関するシンポジウム、IAHR Japan Chapter総会
26日(月)：一般講演、特別講演会、交流会
27日(火)：一般講演、閉会式
- ③会場：北海道大学 札幌キャンパス 学術交流会館他(北海道札幌市北区北8西5)
- ④参加方法：参加費無料
(事前申込みは不要です。当日会場へ直接ご来場いただき、受付にてご記帳のうえご入場ください。交流会(有料)につきましては下記「交流会」をご参照ください。)
- ⑤論文集：論文は電子媒体(CD-ROM)に収録し、頒布されます。11月5日(月)までに水工学論文集(CD-ROM)を事前お申込みいただきましたら、会期前までにお届けいたします。会場でも販売いたしますが、できるだけ事前購入をお願いします。事前購入申込方法は、水工学委員会ホームページ(<http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/>)をご覧ください。なお、講演者の方には、著者負担金に論文集代が含まれており、会期前までにお届けいたします。
- ⑥発表時間：一般講演は1題あたり発表時間9分、討議6分、合計15分です。発表には、PCプロジェクターのみ使用できます。PCプロジェクターを使用する場合、コンピュータは各講演者がご準備ください。日本語論文の発表の場合も、スライドは極力英語で作成ください。

●特別講演

- ①日時：2018年11月26日(月)15:00～17:30
- ②場所：北海道大学 札幌キャンパス 学術交流会館 大講堂
- ③プログラム：
 - 1)「測水今昔」
黒木 幹男氏 (NPO法人環境防災研究機構北海道 代表理事)
 - 2)「北海道命名150年と未来」
岡部 和憲氏 (一般財団法人北海道河川財団 理事長)
 - 3)「オランダにおける気候変動を踏まえた氾濫リスク評価と治水安全度向上の取り組み」
Durk Riedstra氏 (オランダ公共事業局 氾濫リスク管理アドバイザー)
- ④参加方法：参加費無料(事前申込みは不要です。当日会場へ直接ご来場ください)

●第31回アゲールシンポジウム

- ①日時：2018年11月25日(日)13:30～15:25
- ②場所：北海道大学 札幌キャンパス 学術交流会館 大講堂
- ③プログラム：司会：鼎 信次郎(東京工業大学 環境・社会理工学院 教授)
 1)「気候変動シミュレーションとダウンスケーリングの基礎」
稲津 将 (北海道大学大学院理学研究院 教授)
 2)「ダウンスケーリングの応用と地域気候予測の不確実性」
佐藤 友徳 (北海道大学大学院地球環境科学研究院 准教授)
- ④参加方法：参加費無料(事前申込みは不要です。当日会場へ直接ご来場ください)

●河川災害に関するシンポジウム

- ①日時：2018年11月25日(日)15:35～17:30
- ②場所：北海道大学 札幌キャンパス 学術交流会館 大講堂
- ③プログラム：司会：川越清樹 (福島大学 准教授、水害対策小委員会 幹事)
 1)「2017年アメリカ合衆国ハリケーンハービー・イルマによる豪雨災害」
清水康行 (北海道大学 教授)
 2)「2018年7月西日本豪雨による岡山県・広島県における河川災害の概要と課題」
前野詩朗 (岡山大学 教授)・内田龍彦 (広島大学 准教授)
 3)「2018年7月西日本豪雨による四国地方の水害・土砂災害」
森脇 亮 (愛媛大学 教授)
 4)「2018年9月北海道胆振東部地震による土砂災害」
小山内信智 (北海道大学 特任教授)
- ④参加方法：参加費無料(事前申込みは不要です。当日会場へ直接ご来場ください)

●交流会

- ①日時：2018年11月26日(月)18:00～19:30
- ②場所：北海道大学 札幌キャンパス
ファカルティハウス「エンレイソウ」内レストラン「エルム」
- ③参加費：一般：5,000円、学生：1,000円
- ④参加方法：2018年11月25日(日)10:00～講演会受付にてお申込みください。

●講演会プログラム

講演会プログラムおよび最新情報は、水工学委員会ホームページ(<http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/>)をご覧ください。
 問合せ：公益社団法人土木学会 研究事業課 水工学委員会事務局 橋本(TEL.03-3355-3559)
 ※本講演会は「一般財団法人 石狩川振興財団」・「一般財団法人 北海道河川財団」
 「一般財団法人 北海道建設技術センター」・「株式会社ドーコン」より助成を得て開催しております。